

Brown Bag Seminar

No. 048

オンライン
録画期間限定公開
(Zoom)
登録はこちら



2022 5.11 (水) 12:10 ~ 12:50

- 12:10-12:15 ◆ 演者紹介
- 12:15-12:40 ◆ プレゼン
- 12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_Kv3hefT0Q2-0rVdSZxEGwA

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

教育向け 3次元グラフィックスアプリケーションの開発

司会 : Scott Valentine 教授 (Q-AOS 研究推進ディレクター)

岡田 義広 教授

九州大学附属図書館付設教材開発センター
九州大学大学院システム情報科学府情報理工学専攻



1993年3月に北海道大学大学院工学研究科電気工学専攻博士後期課程を修了しました。同年4月より同大学工学部電気工学科の助手として勤務しました。1999年1月に九州大学大型計算機センター研究開発部の助教授に採用され、2000年4月に同大学大学院システム情報科学府の助教授に異動となりました。2013年1月より同大学附属図書館付設教材開発センターの教授となり現在に至ります。2015年4月より同センター長です。現在の研究テーマは、3次元CG、HCI、VR/AR、ネットワークコラボレーションや電子教材開発です。

この講演では、3D グラフィックスアプリケーションに関する研究活動を紹介いたします。1993年から3D グラフィックスアプリケーションの開発環境を研究しています。1995年に当時の研究室の教授と共に IntelligentBox と呼ばれる 3D グラフィックスアプリケーション開発システムを提案しました。この講演の前半では、IntelligentBox とそのアプリケーション例、特に教育向けのアプリケーションを紹介いたします。教育アプリケーションとして、歯科治療訓練システム、太極拳ベースの理学療法ゲームなどがあります。現在、教材開発センターに所属していますので、この講演の後半では、本センターが開発した 3D グラフィックスと VR/AR を活用した eラーニング教材を紹介いたします。

Key Words

VR(仮想現実)
開発ツール
電子教材
教育